

# 国語

## 出題の傾向

昨年度と同じく、①～③の大問3つの出題となりました。①の現代文は例年通り、評論文から漢字・語句の意味・品詞の識別・内容把握などを出題しました。また、一昨年度から新たに追加された「思考力・判断力・表現力」を問う形式の問題を、本年度も②で出題しました。③の古文は、随筆や説話などから、語句の意味・内容把握などを、これも例年通り語注や現代語訳で補助をして出題しました。各問題の配点は、現代文50点、新しい学力観に基づく問題25点、古文25点となっています。では、以下に本年度の入試について詳しく解説していきます。

## 2021 今年度の出題と解説

①の現代文は、『マスクと日本人』（堀井光俊）からの出題でした。現在、身近な存在となっているマスクについての文章ということもあり、全体的には読みやすい内容であると思います。また、設問自体もこれまでと同じ傾向で出題していますので、しっかりと練習を積んだ受験生にとっては、スムーズに取り組める問題だったようで、総体的には、非常に良く出ていました。

### 問1 漢字の問題

中学校までに学習した漢字の書き・読みから出題していますので、学校の授業などで漢字の学習をしっかりと積んで下さい。今年の出題については、あ「専用」は、「専」の右上に「、」をつける間違いがいくつか見られました。また、え「懸念」の読み方を「けんねん」とする誤答や、お「賢明」については、前後の文脈を理解できておらず、「懸命」とする誤答が多くありました。日頃の勉強から、正確に読み書きをする学習を心がけて下さい。また、漢字を読み書きする力は、問題集などで鍛えることももちろん大切ですが、読書や新聞、携帯配信のニュースなど、日常生活の中で活字を読むことで鍛えられる場面も非常に多いです。日頃から、意識的に言葉に触れる機会を増やしてみてください。

### 問2 国文法の問題（品詞の識別）

本校で毎年必ず出題される問題だけに、きっちりと対策を立てて勉強してほしいと思います。この問題は、毎年、きちんと対策をしてきた生徒とそうでない生徒の差が大きく表れます。aは、状態を示す語であり、終止形に戻すと「少ない」と「い」で終わりますから、イ 形容詞 が正解です。bは、少し難しい問題でした。「時代」という名詞に「遅れ」が重なった複合語となっていますが、複合語は、後ろの語が品詞を決定すると覚えておきましょう。今回の「遅れ」は、「遅れること」と言い換えることができますので、「遅れる（動詞）」が名詞化したもの（転成名詞）であると判断できます。よって、エ 名詞 が正解です。cは、動詞の下にあり、「～ない」を「～ぬ」と言い換えられる（例：書かない→書かぬ）ので、ケ 助動詞 となります。ちなみに、状態を示す語で、「ある」に対しての「ない」という意味になる場合は、形容詞です。必ず見分けられるようにしましょう。dは、文節に分けた時に「一番上に来ない言葉」（＝付属語）です。付属語には、直前の用言に意味を添える「助動詞」と、直前の名詞に意味を添えたり、言葉をつないだりする「助詞」があります。今回は、直前が「首」という名詞ですので、コ 助詞 が正解となります。eも、少し難しい問題でした。もともと、「ある」とは、「（例）ここにリンゴがある。」のように、「存在すること」を表す言葉ですが、本文の設問では、「シンボルである（＝シンボルだ）」という意味となっています。ここで用いられている「ある」は、「（例）この本には実家が書いてある。」の「ある」と同じです。この場合は、存在を表すのではなく、本来の意味が失われて、前にある言葉（例の場合は「書いて」）に添えられている（補助している）ことから、「補助動詞」と呼ばれます。つまり、設問の「ある」も、「シンボル」であることに「形式的に意味を添える」だけの「補助動詞」です（※詳しくは、で＝断定の助動詞「だ」ある＝補助動詞）。補助動詞は動詞の一種ですので、正解はア 動詞 となります。なお、それぞれの見分け方のコツについては、本校のオープンキャンパスで、対策授業を行っています。苦手な人は、ぜひ参加して克服して下さい！

### 問3 空欄補充の問題（選択）

空欄に、適切な接続詞や副詞を入れる問題です。頻出かつオーソドックスな問題です。それぞれの言葉の持つ働きと、空欄の前後の文脈を読み取る力が必要です。□Aは、前に「他者がマスクをつける理由の推測」を書いているが、後ろに「…理由は本人に尋ねなければ知る由もない」とありますから、逆の内容を示していることがわかります。よって、逆接の接続詞 エ しかし が入ります。□Bは、前に「お守りを聖化するのには日本に限ったことではない」とあり、すぐ後には、具体的に、ロンドン大学の学者さんのピンクリボンのお守り化についての研究内容が紹介されています。よって、具体例をあげる言葉である オ たとえば が入ります。□Cは、空欄の前に「マスクによって『共感と連帯』が構築され」「精神的な安定が取り戻せる」と書かれていますが、後ろの部分も、「マスク着用という儀礼的な作用により安心が呼び起こされる」と、まとめなおした内容となっています。このように、同じ内容をまとめて言い直す働きを持つ言葉は、イ つまり です。

### 問4 語句の意味を答える問題（選択）

常に言葉に触れる機会を増やすことが大切です。本やニュース、新聞などでわからない言葉に出合った時、すぐに言葉の意味を調べたり、聞いたリして「語彙力」を増やすことで、こういう問題に対応する力が身につけていきます。国語の基礎となる力でもありますから、日頃から、言葉に敏感になっておく姿勢を養っておきましょう。また、文の流れからどんなイメージの語かを確認することも重要です。例えば、①は傍線部の前後にある「日本と英国の包装に対しての意識の違い」をヒントとして、選択肢をしぼることができます。

### 問5 内容把握の問題（抜き出し）

まず、設問が何を求めているかをチェックします。「そのような文化環境」を詳しく説明することですね。ということは、「そのような」の指示内容をまず確認することが必要です。これは、前段落までの「【※】清浄な価値を持たせるために、贈り物に手の込んだ包装をする（日本の文化環境）」のことで、さらに、「十七字」「抜き出し」という条件設定もあるので、しっかりと確認しましょう。さて、後は条件に合う箇所を本文中から探すだけです。1ページの1行目に「物は包まれることで価値が昇華される」という表現があります。これが「十七字」で「【※】」と同意であることが分かれば、条件に一致する解答であると分かります。

### 問6 内容把握の問題（選択）

まず、設問の要求をチェックします。傍線部③「異なった象徴秩序」とはどういうことかを問う問題です。傍線部の直前に「健康者が感染者かにより」とあるので、「健康者」と「感染者」でどう異なっているのかを読み取りましょう。傍線部の後ろにある店員さんの例をしっかり読み取ることができれば、解答はそれほど難しくないと思います。エ が正解になります。

### 問7 内容把握の問題（選択）

設問の要求は、「マスクを着けた人が前にいても無関心を装う理由を答えよ。」ですから、まずは、本文中から該当箇所を探し出します。傍線部の後ろに、その理由説明がありますね。その部分を簡単にまとめると、「他者がマスクを着けている理由は本人しか分からない（から、無関心を装う）」とつながります。これに該当する選択肢を選ぶと、イ が正解になります。

## 問8 内容把握の問題（記述）

傍線部の周りの文脈をしっかりと読み取れているかを試す問題でした。設問の要求は、「新しい迷信」を具体的に答えることなのですが、必ず必要な視点は、傍線部の後ろを見て、「新しい迷信＝マスク」であるということに認識することです。よって、解答に「マスク」についての記述がない解答は誤答となります。また、解答に必要な要素は、全て傍線部の前の二つの段落に集約されていますから、ここをしっかりと読みましょう。すると、2ページの5行目から9行目にある、「かつての日本では、インフルエンザを防いで家族の健康を守るために、儀礼が病の神を追い出す象徴的意味を表した → 過去の儀礼が象徴的効力を失い、（現在は）マスクが果たしている」という記述に注目します。ここを「新しい迷信」の言い替えに焦点を当ててまとめ直すと、二つの解答パターンが考えられます。まずは、「迷信」を「～と信じる（思い込む）こと。」と言い替えて説明する解答です。「（解答例）マスクを着用することにより、病気を防ぎ、健康が守られると信じること。（同意可）」といった解答の形になります。もう一つは、儀礼の持つ象徴的機能を「古い迷信」ととらえ、現在ではマスクがその役割を担っている（＝新しい迷信）と説明する解答です。「（別解例）過去の儀礼が失った象徴的効力に替わり、マスクがその役割を果たすこと。（同意可）」といった解答の形になります。どちらの形で書いてもらっても正解です。

## 問9 空欄補充の問題（選択）

このパターンの問題は、空欄の前後の表現に解答の根拠を探ることが大切です。ここでは、「マスクに□X」と叫ぶ（＝マスクに文句を言う）代わりにできる事はない」と読み取れたでしょうか。それを言い替えているのが、次の一文になります。「マスクをせず不安に駆られるよりも、効果に根拠なしと言われても、生活に安心を取り戻した方がお賢明（問1）」という部分です。つまり、「効果に根拠はないことに文句を言う前に、生活に安心をもたらすために信じよう」ということです。ここまで読めば分かりますね。エ 科学的根拠がない が正解になります。

## 問10 内容把握の問題（記述）

このような「まとめ」の問題は、必要な部分を補充するために本文との照合を丁寧にすることが大切です。まず、「俗物（＝マスク）を「お守り」として身に着けると、【①】【②】を形成し、価値が昇華される」のだから、マスクがお守りとなる場面を本文から二点取りだしてみましょう。まずは、傍線部⑦の前から、「着用により安心感を与え、…まさに、『お守り』のような存在意義が与えられている。」とあるので、一つ目は安心感であると読み取れます。次に、設問の六字という条件に合わせるために言い替えを探すと、3ページ1行目に精神的な安定という言葉があります。これが正解です。さらに、傍線部⑦の後ろに他の例が示されています。放射線計測機とピンクリボンの二つの例を見て、「みんなで着用することで『お守り』的な意味を持つ」ことが理解できます。この「みんなで」を、設問内の「自分一人ではないという【②】」という文の続き方や、設問の条件である五字の言葉に注意して言い替えると、「共同体意識」、もしくは「共感と連帯」という言葉が見つかると思います。どちらも正解です。

②の問題は、一昨年度から導入された「新傾向問題」です。この問題は、複数の資料から設問に必要な情報を選び、取り出して、適切な解答を選んだり、作り出すという、新しい学力観に基づいた内容になっています。また、これからの学習で最も重要となる、論理的思考能力をはかる問題でもあります。

## 問1 資料読解の問題（選択）

まず、□Iは、A君の発言から、どうやらプリントの人数配当に問題がありそうだと推測できます。プリントを読んで判断できないものを選びましょう。選択肢とプリントの内容を確認すると、アは、図1「各清掃場所人数配当」の欄外、三つ目にある※の説明に書いてあります。イは、同じく図1「各清掃場所人数配当」内の右端に書いてあります。ウについては、図1「各清掃場所人数配当」の欄外、二つ目にある※の説明に書いてあります。よって、ウが正解となります。

## 問2 資料読解の問題（選択）

□IIも同じく、表と選択肢を丁寧に比べましょう。アは、上の表のクラス人数、下段表のグラフの雑巾の配当数を比べると足りていると判断できます。イ、ウは、下の表の各クラスに同じ数が配当されているし、欄外

には「ゴミ箱のビニール袋は、日直が取りに行ってください」と指示があるので、足りていると判断できます。エは、確かに下の表を見ると一年生の他のクラスと人数が配当されていますが、上の表を見ると1年4組はクラス人数が多いことが分かります。よって、掃除用具も多く配当されないと、Dさんが気づいたように「することがない人が出てくる」と考えられます。正解は、エとなります。

## 問3 読解・漢字の問題（記述）

文章の意味を推測して、E君の「誤変換」を正しい漢字に直す問題です。問1、問2でプリントの問題点に気づいたので、先生に「テイセイ」をお願いするわけですから、「訂正」が正解となります。日常的に使う語なので、しっかりと正解して欲しい問題です。

## 問4 論理的読解の問題（選択）

傍線部の後で、この文書に必要な内容を生徒会役員が話し合っています。そこから推測して、場所ごとに重点的に掃除をする部分を確定させます。まず、HR教室は、「いつものホウキ掃除で取り切れないゴミを取る」事ですから、床掃除ではなく、蛍光灯周りが重点となるべきです。また、選択教室では、「昼食を取っているのに片づけが不十分」ということで、どうやら昼食のゴミをしっかりと取る必要があるようです。また、グラウンドは、「体育大会の応援合戦で足が痛かった」のだから、石拾いをすべきです。体育館については記述がないので不問とします。これらの観点を総合すると、ウの文書が「全員が同じ観点で掃除ができる文書」となります。

## 問5 読解・四字熟語の問題（記述）

「準備が十分に出来ている＝用意〇〇」となる四字熟語を考える問題です。こういう問題に対応するためにも、何度も言いますが、日頃から活字を読んで言葉を知っておくことは大切です。今回はいくつか解答がありました。まずは「用意周到（しゅうとう）」。さらに、「用意万全」「用意万端（ばんたん）」も正解です。

## 問6 情報処理・判断力の問題（記述）

この問題は、示された複数の情報から必要な情報を取り出し、記述する力を試す問題でした。まず、条件は「アンケートの結果をもとにして、あなたが生徒会役員として優先的にすべき行動」を考えるということです。もちろん、アンケートには様々な意見が集まっているので、どれも取り組むべき課題であると思われるが、集まった意見を集約すると、生徒たちの声として最も多くあがっている問題は何か浮かび上がってくるはずで、それを判断し、記述できるかどうかを試されているわけです。アンケートの全体を見ずに、あなたの個人的な感想を書くのではないということ、大前提として押さえておきましょう。ここでは、生徒会役員としては、大掃除をする上で最も問題になっているのは、様々な人からあがっている「掃除用具が古かったり、壊れていたり、なくなっていたりするの、新しくして欲しい」という意見を理解し、取り組むべきであると考えられます。なお、記述解答の部分点については以下に例を示しておきますので、自分で勉強する際の参考にして下さい。

A解答（正答5点）古くなったり壊れたり、紛失した掃除用具が多いので、確認・交換を提案すべきであると考えられる。（同意可）

B解答（△解答3点）掃除用具が古くなっていないか、壊れていないか確認・点検をすべきである。→ この解答は、アンケートに破損や紛失の状態がすでに多く書かれている事をふまえると、交換の提案まですべきであるので減点。

C解答（誤答）「先輩と後輩が仲良く掃除することは大切」「次の大掃除は雨の後にやるように日を設定する」「ツバメの巣を壊す」など、アンケートの全体を見て解答していないものは誤答となります。

③の「古文」の問題は、鎌倉時代の説話集「沙石集」からの出題でしたが、現代語で理解できる部分をつなげていけば、話の大筋をつかみ、解答できたと思います。まずは、現代語訳を載せておきます。

【現代語訳】（わかりやすく、言葉を補って訳しています）

海の中に、虬（きゅう）というモノが住んでいた。蛇に似て、角がないモノをいった。妻が懐妊して、猿の生肝を欲したので、手に入れにくいものではあるが、（手に入れたら妻に）愛情を示せるだろうと思って、山の中の、海辺の山に猿が多くいる所へ訪ねて行って言う事には、「海の中に、木の実が沢山なる山がある。ああ、おいでになれば良いのに。私の背に乗せて、連れて行きましょう。」と言う。（猿は、）「それならば連れて行け」と言って、背に乗った。（虬と猿は）海の中を遙かに進んでいくが、

山も見えない。「どうしたのだ、(木の実の多い)山はどこだ」と猿が言うと、虬は「本当に海の中にどうして山があるだろうか。(いや、山などありはしない。)私の妻が、猿の生肝を願ったので、(お前を連れて来たのは)そのためだ。」と言う。猿は(自分を殺してしまうつもりだと気づき、)顔色が真っ青になって、どうしようもなく言う事には、「それならば、山でおっしゃったなら、お安いで済んだのに、私の生肝は、さっきの山の木の上に置いてきたのを、急に(こちらに)やってきたので置き忘れてしまった」と言う。虬は、「これでは、肝を取るために(猿を)連れて来たのに意味がない。」と思って、「それならば帰って、取っていらっしやい。」と言う。猿は「簡単だ。たやすいことです。」と言う。さて、(虬と猿は)帰って元の山へ行った。猿は木に登って、「海の中に山はない。身を離れて肝はない。」と言って、山深く隠れてしまった。虬は、(猿を逃がしてしまつて)間抜けな様子で帰って行った。

問1 主語把握の問題(選択) 登場人物の行動をしっかりと整理しながら読めば、それほど難しい問題ではなかったと思います。古典では主語を省略した文章が多いですから、問題演習の際には、しっかり誰の行動かを確認しながら読み進める練習が効果的です。

問2 内容把握の問題(記述) 猿が背に乗った一番の理由は、「海の中に木の実が多い山がある」という虬の言葉に心を動かされたからです。この視点がない解答は×となります。(正解) 虬の話聞いて、海の中の木の実の多い山へ行ってみたいくなったから。 ※「海の中の」という語がない場合は1点減点です。

問3 語句の意味を問う問題(選択) それぞれ、周りの文脈から判断して解く問題です。②は、傍線部の後で虬が「我が妻、…そのためぞ(私の妻が、猿の生肝を願ったので、(お前を連れて来たのは)そのためだ)」と言っている点、⑤も傍線部の後の「安き事(たやすいことです)。」を判断の根拠としましょう。

問4 内容把握の問題(選択) ここでは、虬の発言で猿が失った「色」が「顔色」である事を理解できれば、簡単に分かったと思います。つまり、「生肝を取られる=殺される」ことに気づき、青くなっているわけです。正解はエとなります。

問5 内容把握の問題(記述) 命を狙われていると知った猿の狙いは、なんとかこの状況を逃れることです。しかし、自力では海の中から出られないことから、「(あなたの欲しがっている生肝は)さっきの山の木の上に置いてきてしまった」とウソをついたわけです。こう言えば、虬が自分を山に送り返してくれるはずだという狙いがあったからですね。設問の要求をよく読んで、解答の最後は「～狙い。」で終わるようにしましょう。ということで、(正解) 虬をだまして、猿がいた山に引き返させようという狙い(別解) 虬が、猿をもといた山に送り返さざるを得ないと思わせる狙いとなります。また、「虬をだまして山の中へ逃げる」「虬に殺されないようにする」という解答は、送り返してもらった結果として生まれる次の狙いであって、「さっきの山に置いてきた」という発言に対する直接の説明となっていないので、減点で2点となります。

問6 空欄補充の問題(記述) 空欄を補充する問題は、前後の言葉をヒントに考える事が大切です。今回は、話の内容理解がしっかりしていれば、間違いなく入れることができたと思います。まず、アは二カ所ありますし、それまでの話の流れからも簡単に入ったと思います。

イは、山へ帰った猿が虬に対して、「お前が俺をだましたように、今度は俺がお前をだましたんだよ。」とかけた言葉だと理解しましょう。ア 山 イ 肝 が正解となります。

問7 本文全体の理解の問題(選択)

説話文学の最後に付け加えられるまとめの一文は、教訓といって、その話からわかる事・教えられる事を端的にまとめたものとなっています。この話は、上の現代語訳を読んでもらえれば分かるように、猿をだました虬が、最後に逆にだまされてしまうという話です。これを示している正解は、ウとなります。

## 対策と アドバイス

現代文の問題は、設問から、「何を答えれば良いのか」ということを読み取った上で、本文をじっくり読めば必ず解答を得られるようになっていきます。練習の際には、たまたま正解した、間違っただけで一喜一憂するのではなく、自分でしっかりと根拠を持った解答をし、解答に至る道筋が本当に合っていたのか、しっかりと解説を読んで理解しましょう。時間がかかるかもしれませんが、そうすることで本当の実力がついてきます。また、日頃から読書の機会を持つことで、語彙力を増やし、文のつながりや構造を理解する力=読解力を養うように心がけましょう。来年度も、「漢字・口語文法(品詞の識別)・語句の意味」など基本的な言葉の知識を中心に出题する予定です。本校独自の問題については、必ず得点できるように対策を立てることが大切ですが、全体的には、中学校の授業で学習したことを正確に身に付けることを心掛け、問題を一つでも多く解くようにしてください。また、日頃から常に文章(活字)に触れることが一番です。読書を通じてしっかりと読解力をつけ、問題演習を通して、本文の中から答えを探し出す訓練を積んでください。また、学校によっては古文への取り組みが少ない学校もあるかも知れませんが、本校の古文の問題は、現代語訳での補助も多く、主に「文脈を判断する」問題になっていますので、日頃から古文に触れておくだけでも十分な対策になります。市販の問題集などを使って、文中の分かる言葉をつなげて、話の大筋をつかまえる練習を積んでおくのも良いでしょう。新傾向の問題については、今年と同様に、それほど特異な出題はしませんが、やはり何も対策をせずに本番を迎えるのは不安だと思います。学校などでも同じような問題に取り組む機会があると思いますし、近年では全国の公立高校で同様の問題が多く出題されています。学校の授業での演習の機会を大切に、公立高校の過去問題を調べたりして、地道に練習を重ねてほしいと思います。また、直前入試対策説明会(12月)では、模擬問題(新傾向)の解説を予定しています。本校で実際の問題に触れてみるのも貴重な経験になりますので、是非足を運んでください。最後に、国語力は、全ての教科の基礎とされています。国語の力が伸びれば、他の教科にも必ず良い影響をもたらしますので、しっかり勉強して下さい。